

スタジオパーク 「現役世代の社会保障の拡充を」

2012年01月12日(木)

政府は先週、社会保障と税の一体改革の素案をまとめましたが、今後、高齢者だけではなく、働く現役世代を含む人生前半の社会保障をどう拡充していくかが課題となっています。後藤解説委員です。

【質問1】現役世代の社会保障の拡充、その必要性はしばしば言われてきましたよね？

そうですね。社会保障といいますと、年金、医療、介護・・・、高齢者のためのものという印象がありますが、現役世代が安心して暮らせなければ、社会を支えることはできません。そこで人生前半の社会保障の重要性にも目が向けられてきたのに、それが中々、政策として実を結ばない、そこが問題なんです。

今や働く人の3人に一人が非正規雇用です。中でも、自ら望んでいるわけではないのに、こうした働き方を強いられる人が増えています。働いても貧困から抜け出せないワーキングプアと呼ばれる人たち、現役世代では550万人に上っています。1年以上の長期にわたって仕事に就けずにいる失業者も、100万人を超えていて、失業のセーフティネットが十分でないため、大変、厳しい状況に陥っているんです。